

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	保健Ⅰ		
必修選択	必修	(学則表記)	保健Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ヘアメイク科	1	30
使用教材	保健Ⅰ			出版社	社) 日本理容美容教育センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	適切な美容を行うために人体の保健と皮膚科学を解剖学的ならびに生理学的に理解し、「美容実習」および「美容の物理化学」と関連させながら知識の習得する。				
到達目標	人体の基礎知識の習得を図ることによって安全で衛生的な美容の施術を実践できる能力を育て、施術依頼者からの質問にも十分に説明できる。				
評価基準	テスト：50％　小テスト：30％　授業態度：20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目	保健Ⅱ				
備考	原則、この科目はオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	帰山　遼子　他2名			実務経験	○
実務内容	ヘアサロンにて美容師として7年勤務。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	第1章/頭部、顔部、頸部の体表解剖学	1項　人体各部の名称
2		2項　頭部、顔部、頸部の体表解剖学
3	第2章/骨格器系	1項　骨の種類と構造　2項　骨の連結・骨格器とそのはたらき
4		3項　骨格器とそのはたらき
5	第3章/筋系	1項　筋の種類とその特徴　2項　主な骨格筋とそのはたらき
6		3項　表情筋と表情運動 4項　理容美容の作業と筋疲労
7	まとめ	まとめを行う
8	解説	振り返り・解説
9	第4章/神経系	1項　神経系の成り立ち

10	第4章/神経系	2項 中枢神経とそのはたらき 3項 末梢神経とそのはたらき
11	第5章/感覚器系	1項 視覚 / 2項 聴覚 / 3項 平衡感覚
12		4項 味覚 / 5項 嗅覚 / 6項 皮膚感覚
13	まとめ	まとめを行う
14	解説	振り返り・解説
15	総まとめ	総まとめを行う
16	第6章/血液・循環器系	1項 血液のあらまし
17		2項 血液循環の仕組み
18		3項 血液の循環経路
19		4項 心臓と血管のはたらき 5項 リンパ管系の仕組みとはたらき
20	第7章/呼吸器系	1項 呼吸器系のあらまし 2項 気道
21		3項 肺の仕組みとガス交換 4項 呼吸運動
22	まとめ	まとめを行う
23	解説	振り返り・解説
24	第8章/消化器系	1項 消化器系のあらまし
25		2項 消化管の仕組み
26		3項 消化管のはたらき
27		4項 消化と物質代謝
28	まとめ	まとめを行う
29	解説	振り返り・解説
30	総まとめ	総まとめを行う

科目の基礎情報①					
授業形態	講義	科目名	文化論Ⅰ		
必修選択	必修	(学則表記)	文化論Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ヘアメイク科	1	30
使用教材	文化論			出版社	社) 日本理容美容教育センター
科目の基礎情報②					
授業のねらい	美容業界人として必要な理容業・美容業の歴史を学び、創造を広げるエッセンスとなる日本・西洋のファッション文化史の流れを習得する。				
到達目標	美容師国家試験（筆記）に向けて適切な記述ができる。				
評価基準	テスト：50％　小テスト：30％　授業態度：20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容技術理論Ⅱ				
備考	原則、この科目はオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	青柳　光子			実務経験	○
実務内容	ヘアサロンにて美容師として20年勤務。海外での実務経験有。				
習熟状況等により授業の展開が変わることがあります					
各回の展開					
回数	単元		内容		
1	第1章　総論　第1節　総論		教科、授業進行の説明。美容師に求められるものについて。用具の説明。		
2	第4章ファッション文化史西洋編 第1節～第3節 古代エジプト・ギリシャ・ローマ・ゲルマン		古代エジプト・ギリシャ・ローマ・ゲルマンの髪型、化粧、服装について		
3	第4章ファッション文化史西洋編 第4節中世ヨーロッパ		中世ヨーロッパ、16世紀の髪型・化粧・服装について		
4	第4章ファッション文化史西洋編 第5節近世Ⅰ（16世紀）第6節近世Ⅱ（17世紀）		16世紀、17世紀の髪型・化粧・服装について		
5	第4章ファッション文化史西洋編 第7節近世Ⅲ（18世紀）		18世紀の髪型・化粧・服装について		
6	第4章ファッション文化史西洋編 第8節近代Ⅰ（18世紀末～19世紀初め） 第9節近代Ⅱ（19世紀）		18世紀、19世紀の髪型・化粧・服装について　近世Ⅰ～近代小テスト		

7	第4章ファッション文化史西洋編 第10節現代Ⅰ（1910～1920年代） 第11節現代Ⅱ（1930～1940年代前半）	1910～1940の髪型・化粧・服装について
8	第4章ファッション文化史西洋編 第12節現代Ⅲ（1940後半～1950年代）第13節現代Ⅳ（1960年代）	1940～1960の髪型・化粧・服装について
9	第4章ファッション文化史西洋編 第14節現代Ⅴ（1970年代）	1970の髪型・化粧・服装について
10	第4章ファッション文化史西洋編 第15節現代Ⅵ（1980年代）	1980の髪型・化粧・服装について
11	第4章ファッション文化史西洋編 第16節現代Ⅶ（1990～2010年代）	1990～2010年代の髪型・服装・化粧について
12	第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 第2節 洋装の礼装	和装の礼装について
13	まとめ	まとめを実施する
14	第5章 礼装の種類 第1節 和装の礼装 第2節 洋装の礼装	洋装の礼装について
15	総まとめ	総まとめを行う
16	第1章 総論 第1節 総論	教科、授業進行の説明。美容師に求められるものについて。
17	第2章 日本の美容業の歴史 第1節～第2節	第1節理容業・美容業の発生第2節江戸時代の理容業・美容業
18	第2章 日本の美容業の歴史 第3節～第4節	第3節近代の理容業・美容業第4節現代の理容業・美容業
19	第3章ファッション文化史日本編 第1節 縄文・弥生・古墳	縄文・弥生・古墳時代の髪型・化粧・服装について
20	第3章ファッション文化史日本編 第2節 古代（飛鳥・奈良・平安時代）	古代の髪型・化粧・服装について
21	第3章ファッション文化史日本編 第3節 第4節	中世・近世Ⅰの髪型・化粧・服装について
22	第3章ファッション文化史日本編 第5節 近世Ⅱ（江戸時代）	江戸時代の髪型について
23	第3章ファッション文化史日本編 第5節 近世Ⅱ（江戸時代）	江戸時代化粧・服装について日本髪 髪型・服装・日本髪小テスト
24	第3章ファッション文化史日本編 第6節 近代（明治・大正・昭和20年まで）	明治の髪型・服装・化粧について
25	第3章ファッション文化史日本編 第6節 近代（明治・大正・昭和20年まで）	明治の髪型・服装・化粧について
26	第3章ファッション文化史日本編 第7節 現代Ⅰ（1945～1950年代）	大正、昭和の髪型・服装・化粧について
27	第3章ファッション文化史日本編 第8節 現代Ⅱ（1960～1970年代）	1960～1970年代の髪型・化粧・服装について
28	まとめ	まとめを実施する

29	テスト解説 第3章ファッション文化史日本編 第9節 第10節	テストの振り返り・解説 1980～2000年代の髪型・化粧・服装について
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	美容技術理論Ⅰ		
必修選択	必修	(学則表記)	美容技術理論Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ヘアメイク科	3	90
使用教材	美容技術理論Ⅰ			出版社	社) 日本理容美容教育センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容業界で活躍していくために、美容全般の技術と理論について習得する。				
到達目標	美容師国家試験（筆記）に向けて適切な記述ができる。				
評価基準	テスト：50％　小テスト：30％　授業態度：20％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目	技術理論Ⅱ				
備考	原則、この科目はオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	宮原　理英子　他1名			実務経験	○
実務内容	ヘアサロンにて美容師として9年勤務後、ウィッグ会社にて10年、福祉美容師として12年勤務。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	イントロダクション <序章　美容技術理論を学ぶにあたって>	※ 美容師免許を所得する上での必要性、取得までの流れを説明 ・美容理論について・美容技術者としての心構え・安定した姿勢、作業点と姿勢 ・作業点と姿勢　・力の配分と姿勢　・人体各部の名称　・美容における頭部の区分
2	<第1章　美容用具> 1. 美容技術における用具 2. コーム3. ブラシ　4. シザース	・美容の道具、器具、機械、取り扱い方 ・コームの種類と各部の名称、選定法、手入れ法・ブラシの種類、選定法と手入れ法 ・シザースの種類、各部の名称、選定法と手入れ法
3	<第1章　美容用具> 5. レザー　6. ピン類、ヘアクリップ　7. ロッド　8. ローラー	・いろいろな太さのローラー　・ホットカーラー（ローラー） ・レザーの種類と各部の名称、刃線の形態と力のかかり方、選定法と手入れ法・ヘアピンのいろいろ・ロッドの種類
4	<第1章　美容用具> 9. ヘアアイロン 10. ヘアドライヤー 11. ヘアスチーマー 12. 遠赤外線機	・ヘアアイロンの種類、各部の名称、選定法と手入れ法 ・ヘアドライヤーの種類と構造 ・タービネートタイプドライヤーの構造 ・ヘアスチーマーの選定法・遠赤外線機の役割
5	<第2章　シャンプーイング> 1. シャンプーイング総論 2. サイドシャンプー 3. バックシャンプー	・シャンプーイングの目的、施術の内容による目的の違い、メカニズム ・シャンプー剤の成分、種類・シャンプーイングの際の注意・シャンプー技術のプロセス　・ブラッシング・ファースト、セカンドシャンプー・バックシャンプーの手順、指の動き

6	<第2章 シャンプーイング> 4. リンス、コンディショナー・トリートメント	・リンス、コンディショナー、トリートメントの役割、違い、成分 ・リンスの目的、種類、技術・コンディショナーの目的 ・ヘアトリートメントの目的、種類技術の一例
7	<第2章 シャンプーイング> 5. スカルプトトリートメント6. ヘッドスパ	・スカルプトトリートメントの目的、要素、種類・頭皮のトラブルのいろいろ ・育毛剤の成分とはたらき・ノーマルスカルプトトリートメント技術の一例・スカルプマッサージ技術の目的と手順 ・ヘッドスパのプロセス、リラクゼーションマッサージ
8	前期まとめ	まとめを実施し理解等の確認【範囲：序章～第2章】
9	<第5章パーマメントウェービング> 1パーマメントウェーブの歴史と現在	・パーマメントウェーブをはじめとする美容関係の歴史・毛髪の構造について ・ウェーブが形成される仕組み ・パーマ剤の分類、種類
	2パーマメントウェーブの理論	
	3パーマ剤の分類	
10	<第5章パーマメントウェービング> 4. パーマ剤に関する注意事項 5. パーマメントウェーブ技術	・使用前、操作中に関する注意事項 ～ スタイリング
11	<第5章パーマメントウェービング> 6 ワインディングのバリエーション 7 縮毛矯正(高温整髪用アイロン使用)	・ワインディングにおける応用！～カウンセリング（ブレン＆仕上げ）
12	<第3章 ヘアデザイン> 1. 美容とデザイン	・錯覚現象を美容に生かそう・デザインの要素
13	前中期未まとめ	まとめを実施し理解等の確認【範囲：第5章・第3章】
14	<第3章 ヘアデザイン> 1. 美容とデザイン	・デザインの原理
15	総合授業	総まとめを行う
16	<第4章 ヘアカットイング> 1. ヘアカットイングとは	・シザーズ、レザーの持ち方等・刃物の材質、材料、正しい姿勢の基本
	2. シザーズとレザーの扱い方	
	3. 美容刃物	
	4. ヘアカットイングの正しい姿勢	
17	<第4章 ヘアカットイング> 5. ブロッキング	・頭部の基礎分割線・基準となる頭部のポイント、スライスの種類 ・パネルと頭皮の角度・毛先が集まる位置とカットラインの関係・パネルの幅や長さでカットラインの関係 ・パネルの角度とシルエットの関係・ラインの設定法 ・ワンレングスカット・グラデーションカット・レイヤーカット・セイルレングスカット
	6. ヘアカットイングの基礎理論	
	7. ベーシックなカット技法	
18	<第4章 ヘアカットイング> 8. シザーズによるカット技法 9. レザーによるカット技法	・シザーズによるカット技法、ストロークの分類 ・レザーによるカット技法のいろいろ、テーパーカットの分類
19	後期中間まとめ	まとめを実施し理解等の確認【範囲：第4章】
20	<第6章 ヘアセッティング> 1. ヘアカットイングとは	・オリジナルセットの基本的な要 ～ ストランドシェーブ、フィンガーウェーブ時の持ち方
20	2. ヘアパーティング 3. ヘアシェービング	・オリジナルセットの基本的な要 ～ ストランドシェーブ、フィンガーウェーブ時の持ち方
21	<第6章 ヘアセッティング> 4. ヘアカーリング	・オリジナルセットの基本的な要 ～ ストランドシェーブ、フィンガーウェーブ時の持ち方 ・カール各部の名称、分類 ～ クロッキノールカール技術の一例
22	<第6章 ヘアセッティング> 5. ヘアウェービング 6. ローラーカーリング	・ヘアウェーブの名称、分類 ～ ローラーウェーブ ・ベースの幅と厚さ

23	<第6章 ヘアセッティング> 7.ブロードドライ/8. アイロンセッティング	・ハンドドライヤーとブラシの基本操作 ・アイロンの持ち方
24	9. バックコーミング/10. アップスタイル/11 ウィッグとヘアピース	・ウィッグ、ヘアピース手入れ法
25	<第7章 ヘアカラーリング> 1. ヘアカラーリング概要 2. ヘアカラーの種類	・ヘアカラーリングの歴史、種類 ～ タイプ別染毛メカニズム
	3. ヘアカラーのタイプ別特徴 4. 染毛のメカニズム	
26	<第7章 ヘアカラーリング> 4. 染毛のメカニズム	・ヘアカラーの色選び～アンダートーン
	5. 色の基本 6. 毛髪のレベルとアンダートーン	
27	7. パッチテスト 8. 染毛剤使用時の注意	・染毛剤と皮膚炎 ～ ・ヘアカラーリング専用の施術道具 ・パッチテスト ～ ・ヘアブリーチのブロッキング例
	9. ヘアカラーリングの道具 10. 酸化染毛剤の技術手順	
	11. 酸性染毛剤料の技術手順 12. ヘアブリーチ	
28	後期期末まとめ	まとめを実施し理解等の確認【範囲：第4章・第7章】
29	まとめ・解説	まとめ・解説を行う
30	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	衛生管理Ⅰ		
必修選択	必修	(学則表記)	衛生管理Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ヘアメイク科	1	30
使用教材	衛生管理		出版社	社) 日本理容美容教育センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	公衆衛生について学び、感染症と環境衛生、消毒の義務や目的など、サロンにおける衛生管理を学ぶ中で、衛生面についての理解する。		
到達目標	不特定多数の人の皮膚や毛髪に直接触れ、刃物や薬剤などを用いて業務をするため、個人としてだけでなく、業を通して公衆衛生・環境衛生を業務に関連付けて説明することができる。		
評価基準	テスト：50％　小テスト：30％　授業態度：20％		
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	美容師国家資格		
関連科目			
備考	原則、この科目はオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。		
担当教員	遠藤　翔太　他1名	実務経験	○
実務内容	調剤薬局にて薬剤師として勤務。		

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	第1編 公衆衛生 1章公衆衛生の概要	先輩や講師自身の話をする美容師免許を所得する上での必要性取得までの流れを説明/この教科で一番興味を持ちそうな話をする(身近な病気や生活習慣病など普段の生活に 近い話)/健康の定義、公衆衛生の歴史、保健所の役割
2	第1編 公衆衛生 2章保健	「母子保健」・「成人・高齢者保健」・「精神保健」
3		
4		
5	第2編 環境衛生 1章環境衛生の概要・空気環境	環境衛生の内容・目的・意義・活動 空気の成分と有毒ガス 温度・湿度・風と健康
6		
7		

8		
9	第2編 環境衛生 1章衣服住居の衛生・上下水道と廃棄物	衣服住居の衛生・上下水道と廃棄物
10		
11	第2編 環境衛生 1章衛生害虫とネズミ・環境保全	衛生害虫とネズミ・環境保全
12		
13	まとめ	まとめを実施する。
14	解説	振り返り・解説
15	総まとめ	総まとめを行う
16	第3編 感染症 1章感染症の概要	先輩や講師自身の話をする美容師免許を所得する上での必要性取得までの流れを説明/この教科で一番興味を持ちそうな話をする（身近な病気や生活習慣病など普段の生活に 近い話）/健康の定義、公衆衛生の歴史、保健所の役割
17	第3編 感染症 1章感染症の総論①	人と感染症・感染症の歴史、法律・感染症の分類
18		
19	第3編 感染症 1章感染症の総論②	病原微生物の種類と構造・環境の影響
20		
21	第3編 感染症 1章感染症の総論③	感染症の予防免疫と予防接種・予防のための3原則
22		
23	第3編感染症 2章感染症の各論①	空気・飛沫、飲食物を介して感染する 感染症の症状、感染経路、予防対策
24		
25	第3編感染症 2章感染症の各論②	血液等、動物・節足動物を介して感染する 感染症の症状、感染経路、予防対策
26		
27	第3編感染症 2章感染症の各論③	具体的な対策の例
28	まとめ	まとめを実施する。
29	解説	振り返り・解説
30	総まとめ	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅰ－A		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅰ－A		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ヘアメイク科	3	90
使用教材	ワインディング教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート			出版社	公益財団法人理容師美容師試験研修センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験第2課題ワインディング技術について基礎を理解し習得する				
到達目標	美容師国家試験第2課題ワインディング技術の基礎知識及び国家試験合格基準を目指す				
評価基準	総まとめ40% まとめ30% 授業態度30%				
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格（実技）				
関連科目	美容技術理論Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式に実施する。				
担当教員	長瀬 亘輝 他16名			実務経験	○
実務内容	企業サロン、個人サロン、都内サロン、業務委託兼トータルビューティースalonなど様々な形態のサロンにて5年間美容師として勤務。コンテストでは全国大会上位入賞の経験あり。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	新入生オリエンテーション	授業目的、評価基準、授業ルール説明、教材確認（道具名称・扱い方・管理方法）、机上セッティング、ウィッグの取り扱い、 コームワーク、縦スライス、横スライス、二重ゴム、分け取り、ブロッキング構成習得、国家試験衛生
2	ワインディング	コームワーク、縦スライス、横スライス、二重ゴム、分け取り、ブロッキング構成習得、復習、強化、 ブロッキング計測10分
3	ワインディング	ブロッキング構成習得、復習、強化、ブロッキング計測10分～7分、上巻き下巻き導入
4	ワインディング	ブロッキング構成、計測7分～5分、上巻き下巻き復習、センター導入、習得
5	ワインディング	ブロッキング構成、計測5分、上巻き、下巻き、センター巻き、復習、強化
6	ワインディング	ブロッキングまとめを実施する 計測5分、コームで取るブロッキング（12ブロック）導入、計測5分、 センター強化、計測センター15分、フロント導入、構成
7	ワインディング	ブロッキング（コーム、12ブロック）計測4分、センター強化、計測センター12分～10分、フロント復習、強化、計測1 本1分、両バックサイド導入
8	ワインディング	ブロッキング（コーム、12ブロック）計測4分、センター強化、計測センター10分～7分、 フロント、バックサイド復習、強化、計測1本1分～45秒、両ネープ導入
9	ワインディング	ブロッキング（コーム、12ブロック）計測4分、センター計測7分、フロント、両バックサイド復習、強化、 計測1本45秒、両ネープ復習、強化、サイド導入

10	ワインディング	ブロッキング（コーム、12ブロック）計測4分、センター計測7分、フロント、両バックサイド強化、計測1本40秒～35秒、両ネーブ、サイド復習、強化
11	ワインディング	ブロッキング（コーム、9ブロック）計測4分～3分、センター計測7分～6分30秒、フロント、両バックサイド強化、計測35秒～30秒、全頭巻き計測35分
12	ワインディング	ブロッキング（コーム、9ブロック）計測4分～3分、センター計測6分30秒、フロント、両バックサイド計測30秒、全頭巻き計測35分～30分
13	ワインディング 総まとめ	ワインディング総まとめを実施する 計測ブロッキング（コーム、9ブロック）3分、全頭巻き30分
14	ワインディング	ブロッキング（コーム、9ブロック）計測3分、センター計測6分30秒、両バックサイド計測30秒～27秒、全頭巻き計測35分～30分
15	総合授業	前期振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅰ－B		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅰ－B		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ヘアメイク科	3	90
使用教材	シャンプー教材一式 美容技術理論Ⅰ ヘアアレンジ一式、ヘアアレンジテキスト			出版社	公益財団法人理容師美容師試験研修センター・ユアサポート

科目の基礎情報②

授業のねらい	【シャンプー】シャンプーイングの目的と頭皮毛髪の基本的知識を習得し、施術内容によるシャンプーイングの違いを知る【ヘアアレンジ】頭部の名称からヘアアレンジの基礎技術・現場での基礎技術を出来る様にする				
到達目標	【シャンプー】シャンプーイングの目的を理解しシャンプー技術のプロセスを身に付ける 【ヘアアレンジ】ブラッシング・ピンニングのヘアアレンジの基本テクニックを理解する。 編み込みやコテの使用等のヘアアレンジが出来る様になる。就職活動に必要なセルフテクニックを知る。				
評価基準	・シャンプー50%（テスト20% 提出物15% 授業態度等15%） ・ヘアアレンジ50%（実技テスト30%、授業意欲20%）				
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	美容技術理論Ⅰ、テクニカルヘアメイク				
備考	・原則、この科目は対面授業形式で実施する。 ・この科目は「シャンプーイング」「ヘアアレンジ」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。				
担当教員	長瀬 亘輝 他16名			実務経験	○
実務内容	企業サロン、個人サロン、都内サロン、業務委託兼トータルビューティーサロンなど様々な形態のサロンにて5年間美容師として勤務。コンテストでは全国大会上位入賞の経験あり。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【シャンプーイング】/【ヘアアレンジ】

回数	単元	内容
1	新入生オリエンテーション	授業目的、評価基準、授業ルール説明、教材確認（道具名称・扱い方・管理方法） シャンプー台の利用の仕方、シャンプー知識
	オリエンテーション 毛髪頭部名称、ブラッシング	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認、 毛髪知識、頭部名称
2	シャンプーイング	ブラッシング、シャワーヘッドの使用法、シャンプープロセスの理解
	ブロッキング ポニーテール	ブロッキング、ポニーテール導入
3	シャンプーイング	シャンプーのプロセスの復習
	ポニーテール 三つ編み	ポニーテール反復練習 三つ編み導入
4	シャンプーイング	プレシャンプー

4	ボニーテール 編み込み・フィッシュボーン	ボニーテール反復練習 編み込み・フィッシュボーン導入
5	シャンプーイング	シャンプー手順 1シャンプー
	ボニーテールテスト スタイル作り①	ボニーテールテスト、振り返り 学んだテクニックを使いスタイルを作る
6	シャンプーイング	1シャンプー、リンス、コンディショナー、トリートメント
	スタイル作り②	学んだテクニックを使いスタイルを作る、振り返り
7	シャンプーイング	1シャンプー、トリートメントプロセス
	ホットカーラー	ホットカーラー導入
8	シャンプーイング まとめ	シャンプーイング まとめを実施する 1シャンプー～トリートメントプロセス 振り返り
	ホットカーラー ビニング	ホットカーラー反復練習 ビニング導入
9	シャンプーイング	2シャンプー、スカルプトリートメント
	ホットカーラー／ビニング／逆毛	ホットカーラー、ビニング反復練習 逆毛導入
10	シャンプーイング	2シャンプー、スカルプトリートメント
	ホットカーラー／ビニング／逆毛	ホットカーラー、ビニング、逆毛反復練習
11	シャンプーイング	2シャンプー、スカルプトリートメント・ヘッドスパ（プロセス）
	アイロン	アイロン導入
12	シャンプーイング 総まとめ	シャンプーイング 総まとめを実施する 2シャンプー、スカルプトリートメント 振り返り
	アイロン	アイロン反復練習
13	シャンプーイング	ヘッドスパ（リラクゼーションマッサージ）
	スタイル作り③	学んだテクニックを使いスタイルを作る、振り返り
14	シャンプーイング	ヘッドスパ（リラクゼーションマッサージ）
	テスト	実技テスト
15	総合授業	シャンプー技術振り返り
	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅰ－C		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅰ－C		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ヘアメイク科	3	90
使用教材	カット教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説・三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート・メイク道具一式・メイクアップテキストペーシック（デジタルテキスト）			出版社	公益財団法人理容師美容師試験研修センター

科目の基礎情報②

授業のねらい	【国家試験カット】美容師国家試験第1課題レイヤーカットの構成 基礎知識を習得する 【トレンドメイク】ショーや撮影などで施すメイク技術を身につけ、現場において実践できるようにする				
到達目標	【国家試験カット】国家試験第1課題レイヤーカット技術の基礎知識及び国家試験合格基準を目指す 【トレンドメイク】ショーメイク、スチール撮影(メイク技術の基礎を理解し、技術ができるようになる)				
評価基準	美容実習50%（テスト20% 提出物15% 授業態度等15%） トrendメイク50%(実技テスト30%、授業意欲20%)				
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格				
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅰ－D カラー＆ファッション、ベーシック・パーソナルメイク・テクニカルヘアメイク				
備考	・原則、この科目は対面授業形式で実施する。 ・この科目は「国家試験カット」「トレンドメイク」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。				
担当教員	長瀬 亘輝 他16名			実務経験	○
実務内容	企業サロン、個人サロン、都内サロン、業務委託兼トータルビューティーサロンなど様々な形態のサロンにて5年間美容師として勤務。コンテストでは全国大会上位入賞の経験あり。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【国家試験カット】/【トレンドメイク】

回数	単元	内容
1	新入生オリエンテーション	授業目的、評価基準、授業ルール説明、教材確認（道具名称・扱い方・管理方法）机上セッティング シザーの開閉、シザーワーク、コームワーク、姿勢、ボディポジション、国家試験衛生
	オリエンテーション	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認 ベースメイク導入、実践
2	国家試験カット	ブロッキング、各ブロックの名称、ブロッキングの取り方、ブロッキング計測
	メイクの歴史①	古代～中世～近代のメイクについて (時代背景や特徴について)
3	国家試験カット	ブロッキング（取り方、計測）、ヘムライン

3	メイクの歴史②	年代別メイク 20年代、30年代、40年代のメイクについて学ぶ
4	国家試験カット	ブロッキング（取り方、計測）、ヘムライン、第3ブロック
	年代別のメイク①	年代別メイク 50年代のメイクについて学ぶ
5	国家試験カット	ブロッキング計測、第3ブロック、第2ブロック
	年代別のメイク②	年代別メイク 60年代のメイクについて学ぶ
6	国家試験カット まとめ	ブロッキング計測まとめを実施する、第3ブロック、第2ブロック
	年代別のメイク③	年代別メイク 70年代、80年代のメイクについて学ぶ
7	国家試験カット	第2ブロック、第1ブロック
	年代別のメイク④	年代別メイク 90年代、2000年代のメイクについて学ぶ
8	国家試験カット	第1ブロック、バックのカット修正
	年代別のメイク⑤	年代別の技術まとめ フルメイクテスト、振り返り
9	国家試験カット	バックのカット修正、フェイスライン、フロント
	スチールメイク①	スチールメイク(トレンド)制作(導入、実践) テーマに合わせて行う
10	国家試験カット	フェイスライン、フロント、サイド
	スチールメイク②	スチールメイク(トレンド)制作(実践) テーマに合わせて行う
11	国家試験カット	サイド、チェックカット、カッティング手順再確認、計測
	スチールメイク③	スチールメイク(トレンド)制作(実践) テーマに合わせて行う
12	国家試験カット	チェックカット、国家試験カット手順再確認、計測
	スチールメイク④	スチールメイク(トレンド)制作(テスト) テーマに合わせて行う
13	国家試験カット 総まとめ	国家試験カット総まとめを実施する 振り返り
	スチールメイク⑤	テーマに合わせた作品制作
14	国家試験カット	国家試験カット手順再確認、計測
	スチールメイク⑥	テーマに合わせた作品制作
15	総合授業	前期振り返り
	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅰ-D		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅰ-D		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ヘアメイク 科	3	90
使用教材	オールウェーブ教材一式 カット教材一式 衛生教材一式・改正美容師技術試験課題 衛生と技術の解説 三幸学園オリジナルマニュアル 美容実習ノート		出版社	公益財団法人美容師美容師試験研修センター	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容師国家試験第1課題カットの構成を理解し、国家試験規定時間内での合格基準の技術を習得する 美容師国家試験第2課題オールウェーブ技術について基礎を理解し習得する		
到達目標	国家試験第1課題レイヤーカット技術、第2課題オールウェーブ技術の基礎知識及び国家試験合格基準を目指す		
評価基準	総まとめ40%　まとめ20%　提出物20%　授業態度20%		
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者		
関連資格	美容師国家資格（実技）		
関連科目	美容技術理論Ⅰ・美容実習Ⅰ-C		
備考	・原則、この科目は対面授業形式で実施する。 ・この科目は「オールウェーブセッティング」「国家試験カット」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。		
担当教員		実務経験	
実務内容			

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【オールウェーブセッティング】/【国家試験カット】

回数	単元	内容
1	新入生オリエンテーション	この授業の目的、評価基準、マナールール説明 教材確認（教材の名称、扱い方、管理方法）、ウィッグ事前仕込み（カット） 授業目的、評価基準、授業ルール説明、教材確認（道具名称・扱い方・管理方法）、机上セッティング 前期再確認、シザーの持ち方、開閉、シザーワーク、コームワーク、姿勢、ボディポジション、カットting手順再確認、 国家試験衛生
2	オールウェーブセッティング	ウィッグ事前仕込み（カット、パーマ）
	国家試験カット	カットting手順再確認（手順、ボディポジション、チェックカット）計測30分
3	オールウェーブセッティング	ウィッグ事前仕込み（カット、パーマ）
3	国家試験カット	カットting手順再確認、計測（カットtingのみ）18分～16分 （チェックカット込み）22分～20分

4	オールウエーブセッティング	ウィッグ事前仕込み（カット、パーマ）机上セッティング、道具確認 7段構成の展開図及び構成完成図の手順確認、ローション塗布、ウエーブ基本導入
	国家試験カット	カッティング手順再確認（手順、ボディポジション、チェックカット）計測 2 5 分
5	オールウエーブセッティング	ローション塗布、ウエーブ基本導入、ウエーブ、リッジ復習、強化 1 段目馬蹄シェーブ、スカルプチュアカール（スライス、手順、ピニング）
	国家試験カット	カッティング手順再確認（手順、ボディポジション、チェックカット）計測 2 5 分
6	オールウエーブセッティング	ウエーブ、リッジ復習、強化、1 段目馬蹄シェーブ、スカルプチュアカール（スライス、手順、ピニング）2 段目ウエーブ、リッジ導入
	国家試験カット	カッティング手順再確認（手順、ボディポジション、チェックカット）計測 2 5 分
7	オールウエーブセッティング	1 段目馬蹄シェーブ、スカルプチュアカール（スライス、手順、ピニング）、計測 7 分 2 段目ウエーブ、リッジ復習、強化 3 段目導入（ウエーブ、リッジ、スカルプチュアカール）
	国家試験カット まとめ	カッティングまとめを実施する 計測 2 5 分
8	オールウエーブセッティング	1 段目馬蹄シェーブ、スカルプチュアカール（スライス、手順、ピニング）、計測 7 分～5 分/2 段目ウエーブ、リッジ復習、強化、計測 7 分～5 分/3 段目ウエーブ、リッジ、スカルプチュアカール復習、強化
	国家試験カット	カッティング手順再確認、計測 2 5 分～2 0 分
9	オールウエーブセッティング	1 段目馬蹄シェーブ、スカルプチュアカール（スライス、手順、ピニング）、計測 7 分～5 分/2 段目ウエーブ、リッジ復習、強化、計測 7 分～5 分/3 段目ウエーブ、リッジ、スカルプチュアカール復習、強化、計測 1 0 分～8 分
	国家試験カット	カッティング手順再確認、計測 2 5 分～2 0 分
10	オールウエーブセッティング	1 段目馬蹄シェーブ、スカルプチュアカール（スライス、手順、ピニング）、計測 5 分/2 段目ウエーブ、リッジ復習、強化、計測 5 分/3 段目ウエーブ、リッジ、スカルプチュアカール復習、強化、計測 1 0 分～8 分
	国家試験カット	カッティング手順再確認、計測（カッティングのみ）2 0 分
11	オールウエーブセッティング まとめ	オールウエーブセッティングまとめを実施する 1 段目～3 段目計測 1 8 分 右側、左側ウエーブ、リッジ、くり抜き導入
	国家試験カット	カッティング手順再確認、計測（カッティングのみ）2 0 分～1 8 分
12	オールウエーブセッティング	1～3 段目構成、計測 1 8 分～1 5 分 右側、左側ウエーブ、リッジ、くり抜き復習、強化
	国家試験カット	カッティング手順再確認、計測（カッティングのみ）1 8 分 （チェックカット込み）2 2 分～2 0 分
13	オールウエーブセッティング 総まとめ	オールウエーブセッティング総まとめを実施する 1～3 段目、右側・左側ウエーブ、リッジ、くり抜き計測 2 7 分
	国家試験カット 総まとめ	カッティング総まとめを実施する 計測 2 0 分
14	オールウエーブセッティング	1～3 段目構成、計測 1 5 分 右側、左側ウエーブ、リッジ、くり抜き復習、強化、計測左右各 6 分～5 分
	国家試験カット	カッティング手順再確認、計測（カッティングのみ）1 8 分～1 6 分 （チェックカット込み）2 2 分～2 0 分
15	総合授業	後期振り返り
	総合授業	後期振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	美容実習Ⅰ－E		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅰ－E		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ヘアメイク科	3	90
使用教材	ワインディング教材一式 衛生教材一式 改正美容師実技試験課題 衛生と技術の解説・三幸学園オリジナル実技マニュアル 美容実習ノート・メイク道具一式、メイクアップテキストベーシック（デジタルテキスト）			出版社	公益財団法人理容師美容師試験研修センター・ユアサポート

科目の基礎情報②

授業のねらい	【ワインディング】 美容師国家試験第2課題ワインディング技術を試験時間内に巻くことができ、国家試験レベルの技術を習得する 【トレンドメイク】 ショーや撮影などで施すメイク技術を身につけ、現場において実践できるようにする				
到達目標	【ワインディング】 美容師国家試験第2課題ワインディング技術の基礎知識及び国家試験合格基準を目指す 【トレンドメイク】 ショーメイク・スチール撮影(メイク技術の基礎を理解し、技術ができるようになる)				
評価基準	ワインディング：総まとめ30％ まとめ10％ 提出物10％ 授業態度10％ トrendメイク：50％(実技テスト20％、提出物15％ 授業意欲15％				
認定条件	・出席が総時間数の5分の4以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	美容師国家資格（実技）				
関連科目	【ワインディング】 美容実習Ⅰ－A、美容技術理論Ⅰ 【トレンドメイク】 カラー＆ファッション、ベーシック・パーソナルメイク、テクニカルヘアメイク				
備考	・原則、この科目は対面授業形式で実施する。 ・この科目は「ワインディング」「トレンドメイク」の2領域に大別されるため、以下「各回の展開」は、領域別に記載する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開【ワインディング】/【トレンドメイク】

回数	単元	内容
1	新入生オリエンテーション	この授業の目的、評価基準、マナールール説明、教材確認（扱い方、管理方法） 前期復習
	ショーメイク①	立体感や骨格をとらえたメイク(導入、実践)
2	ワインディング	ブロッキング3ブロック1分、全頭巻き計測25分
	ショーメイク②	Wラインの使ったメイク(導入、実践)

3	ワインディング	ブロッキング3ブロック1分、全頭巻き計測2.5分
	ムービーメイク①	ムービーで行うメイク
4	ワインディング	ブロッキング3ブロック1分、全頭巻き計測2.3分
	ムービーメイク②	ムービーで行うメイク
5	ワインディング	ブロッキング3ブロック1分、全頭巻き計測2.3分
	コンテストメイク①	テーマに合わせたメイクを行う
6	ワインディング まとめ	ブロッキング3ブロック1分、全頭巻き計測2.3分 まとめを実施する
	コンテストメイク②	テーマに合わせたメイクを行う
7	ワインディング	ブロッキング込み全頭計測2.2分
	作品作り①	テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り
8	ワインディング	ブロッキング込み全頭計測2.2分
	作品作り②	テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り
9	ワインディング	ブロッキング込み全頭計測2.0分
	スチールメイク①	テーマに合わせた作品制作に向けてのメイク
10	ワインディング	ブロッキング込み全頭計測2.0分
	スチールメイク②	テーマに合わせた作品制作に向けてのメイク
11	ワインディング	ブロッキング込み全頭計測2.0分
	スチールメイク③	テーマに合わせた作品制作に向けてのメイク
12	ワインディング	ブロッキング込み全頭計測2.0分
	テスト	作品作りに合わせて、実技テストを行う
13	ワインディング 総まとめ	ブロッキング込み全頭計測2.0分 総まとめを実施する
	作品作り③	テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り
14	ワインディング	ブロッキング込み全頭計測2.0分
	作品作り④	テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り

15	総合授業	後期振り返り
	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	美容実習Ⅰ－F		
必修選択	必修	(学則表記)	美容実習Ⅰ－F		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ヘアメイク科	2	60
使用教材				出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容室として現場で求められる資質や運営方法を具体的に理解する。				
到達目標	社会人としてマナーや敬語を使用することができる。 スタッフ間のスムーズな報告連絡相談を行うことができる。				
評価基準	企業側評価 60％ 学校側評価 40％（ビジネスマナー 20％・各コース該当項目 20％）				
認定条件	・出席が総時間数の 50 時間以上の者 ・成績評価が 2 以上の者				
関連資格					
関連科目	就職対策Ⅰ・ビジネスマナー				
備考	原則、この科目は対面授業形式に実施する。				
担当教員				実務経験	
実務内容					

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	施設実習	施設実習
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		

9	施設実習	施設実習
10		
11		
12		
13		
14		
15		

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ビジネスマナー		
必修選択	選択	(学則表記)	ビジネスマナー		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ヘアメイク科	1	30
使用教材	サービス接客検定公式テキスト3級 サービス接客検定実問題集3級 就職ハンドブック			出版社	早稲田教育出版

科目の基礎情報②

授業のねらい	敬語の使い方や履歴書の書き方、ビジネス文書の書き方など社会人としての考え方、ルールやマナーを身につける				
到達目標	サービス接客検定3級に合格する。 美容の現場で敬語の使い方ができるようになる。社会人としてのマナーを身につける。				
評価基準	【前期評価】テスト50%、課題・提出物30% 授業態度等20% 【後期評価】テスト40%、検定試験30%、課題・提出物20%、授業態度10%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	サービス接客検定3級				
関連科目	就職対策				
備考	原則、この科目はオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	堀 優子			実務経験	○
実務内容	ANA客室乗務員として勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ビジネスマナーとは	授業の目的・到達目標について ビジネスマナーを学ぶ意味を知る
2	サービススタッフの資質	サービス業界で求められているものについて
3		必要とされる要件の復習・従業要件について
4	対人技能（敬語）①	様々な接客用語・敬語について
5	対人技能（敬語）②	尊敬語・謙譲語・二重敬語について
6	対人技能（一般的なマナー）	動作を行う際の基本・ポイントについて

7	専門知識・一般知識	サービス知識、従業知識、一般知識について
8	対人技能①	人間関係について
9	対人技能②	一般的なマナー・接客者としてのマナーについて
10	対人技能③	話し方について
11	実務技能①	問題処理について
12	実務技能②	環境整備・金品管理について
13	社交業務	社交儀礼の業務について
14	総復習	1～13回までの総復習
15	総合授業	総まとめ
16	検定対策授業	復習と練習問題
17		
18		
19		
20		
21		復習・検定問題の解答・解説
22	敬語・社会常識 SPI・時事問題 ①	就職活動に向け、筆記対策や履歴書について
23	敬語・社会常識 SPI・時事問題 ②	
24	社交文書 ①	縦書き・横書きレイアウトについて 文書の種類・文書の構成・頭語と結語・時候の挨拶・前文、末文の慣用語
25	社交文書 ②	郵便の基礎知識～宛名の書き方、返信はがき、お礼状について
26	理想の美容従事者像	お客様から愛され・親しまれる美容従事者について
27	実技演習①「受付～誘導」	受付から誘導のロールプレイング演習
28	実技演習①「面接練習」	面接試験の種類とチェックポイントについて 面接ロールプレイング
29	実技演習②「電話対応」 実技演習③「お茶出し」	電話のかけ方・受け方、伝言メモ、予約電話のシミュレーション
30	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	カラー＆ファッション		
必修選択	選択	(学則表記)	カラー＆ファッション		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ヘアメイク科	1	30
使用教材	新配色カード パーソナルカラーコーディネート検定テキスト パーソナルカラーコーディネート検定課題集			出版社	日本色研事業(株) クリエスクール

科目の基礎情報②

授業のねらい	ファッションの知識と共にヘアメイクとしてのトータルコーディネートとメイクとしての似合わせ等のカラー知識を学ぶ				
到達目標	様々なシーンでトータルコーディネートをする時に、しっかりとした理由付けが出来る				
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業態度等20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	パーソナルカラーコーディネート検定(任意)				
関連科目	美容実習Ⅰ-C				
備考	原則、この科目はオンデマンド型遠隔授業形式にて実施する。				
担当教員	小島由記子 他2名			実務経験	○
実務内容	色彩検定対策講座、パーソナルカラーコーディネーター育成講師 ファッションスタイリスト、ブランディングトレーナー				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション ファッションとメイクの関連について	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認 メイクとファッションの繋がり
2	服の歴史について①	服の成り立ち(古代～中世)
3	服の歴史について②	服の成り立ち(中世～近代)
4	コレクションについて①	コレクション開催4都市について コレクションの歴史
5	コレクションについて②	コレクションブランドについて(シーズンサイクルなど)
6	コレクションについて③	オートクチュール
7	コレクションについて④	プレタポルテ(レディース・メンズ)

8	コレクションについて⑤	コレクションの歴史と開催都市等の総まとめ
9	トレンドについて①	雑誌、SNSの見方と情報収集
10	トレンドについて②	トレンド研究を行う
11	ファッションデザイナー①	雑誌・SNSを使いデザイナーのトレンドを調べる
12	ファッションデザイナー②	
13	ファッションデザイナー	発表されたコレクションを模写もしくはアレンジし、デザイン画（コンセプトシートの作成）
14		
15	総合授業	まとめを行う
16	パーソナルカラー	色の面白さやイメージを知る
17	色の連想	色彩心理前に自分の感じる色を考えてみる
18	色の連想色の特徴①	無彩色、有彩色、三属性、トーンについて
19	色の特徴②	
20	色の心理的効果 慣用色名	心理的効果について 色を表す言葉について
21	配色①	色相、トーンについて
22	配色②	配色の応用、イメージ配色
23	色と光について	色の見える仕組み 視覚のメカニズム
24	対比と同化	対比と同化について
25	混色	混色の原理について
26	パーソナルカラーの基礎①	パーソナルカラーの基礎 セルフチェックを行う
27	パーソナルカラーの基礎②	
28	パーソナルカラーのアドバイス①	ファッション、ヘアカラー、メイク、ネイル、ブライダルについて
29	パーソナルカラーのアドバイス②	
30	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	未来デザインプログラム		
必修選択	選択	(学則表記)	未来デザインプログラム		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ヘアメイク科	1	30
使用教材	7つの習慣Jテキスト、夢のスケッチブック			出版社	株式会社FCEエデュケーション

科目の基礎情報②

授業のねらい	三幸学園の教育理念である「技能と心の調和」を体現する為の授業として、7つの習慣を体系的に学ぶことで、社会人／職業人としてあるべき人格を高め、主体性を発揮して物事にチャレンジできる人材に成長する				
到達目標	・「自立」と「相互依存」のためにはどんな考え方や行動習慣が必要なのかを理解する ・他者へのリーダーシップを醸成し、主体性を発揮できる様になる				
評価基準	小テスト／レポート：20％ 授業態度：40％ 提出物：40％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	就職対策等				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	谷口 愛 他6名			実務経験	○
実務内容	エステティシャンとして6年勤務 人事担当として採用業務に携わっていた。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	専門学校へようこそ！	未来デザインプログラム授業への価値付けを行い、日誌を書くことの意味や今日から実行できる機会を考える
2	自分制限パラダイムを解除しよう！	自分制限パラダイムの概念を知り、自分制限パラダイムを取り払った状態で行動が継続できる様に考える
3	自信貯金箱	自信貯金箱の概念を理解すると共に、自分自身への約束を守る大切さを学ぶ
4	刺激と反応	刺激と反応の考え方を理解し、どの様な状況でも一時停止ボタンを使い主体的に判断・行動していくことの大切さを考える
5	言霊～ことだま～	言葉の持つ力や自分の言動が、描く未来や成功に繋がっていくことを学ぶ
6	影響の輪	集中すべき事、集中すべきでない事を明確にし、今自分がやるべき事、考えるべき事を優先順位を考えながら整理していく大切さを学ぶ
7	選んだ道と選ばなかった道	自分の選択は自分の気持ち次第であり、自分が決めたことに対して、最後までやり遂げる大切さを学ぶ
8	「SDGs」とは？	国際目標であるSDGsとは何か？ またそのゴールは何かを学び、自分できることを考える

9	人生のビジョン	10年後のなりたい自分を考えることにより、スタプロで考えた「卒業時の姿」をより具体的に考える
10	自分の価値観を知る	なりたい姿を鮮明にすることの大切さを知り、自分の価値観を深堀りすることで、将来のなりたい姿を具体的にイメージできるプロセスを学ぶ
11	一番大切なことを優先する	スケジュールの立て方を学ぶ。自らが決意したことを実際の行動に移すことの大切さを学ぶ
12	時間管理のマトリクス	第2領域（緊急性はないが重要なこと）を優先したスケジュール管理について学ぶ
13	信頼貯金箱	信頼貯金箱の概念を理解し、周囲から信頼されるための考え方を学ぶ
14	私的成功の振り返り	主に私的成功の習慣（前期授業内容）の復習（知識確認）
15	成功するための原則	前期の総括とともに、あきらめないことの大切さを考えセルフモチベーションを高めていく
16	Win-Winを考える	お互いがハッピーになれる方法を考えることの大切さを学ぶ
17	豊かさマインド	人を思いやることは自分自身のためでもあることを学ぶ
18	理解してから理解される	人の話の聴き方を考え、理解してから理解するという考え方があるということを学ぶ
19	相乗効果を発揮する	多様性や人と違いがあることに価値があることを学ぶ
20	自分を磨く	自分を磨くことの大切さ、学び続けることの大切さを考える
21	過去の自分とこれからの人生	具体的なライフプラン・人生の目的/目標設定を考える
22	人生ビジョンを見直そう	自らが立てたライフプランを現実的な視点から見つめ、必要な軌道修正を考える
23	未来マップを作ろう①	未来の自分の姿（仕事、家庭、趣味など）を写真や絵で表現するマップを作成し、将来の夢を実現するモチベーションを高めていく
24	未来マップを作ろう②	未来マップの発表を通して、自身の夢を実現する決意をする
25	感謝の心	人間関係構築/向上の基本である感謝の心について考える
26	X Yゲーム	ゲームを通じて未来デザインプログラムで学んだことを常に応用することは難しいということを学ぶ
27	未来デザインプログラムの振り返り	7つの習慣など、未来デザインプログラム授業で学んだことの復習（知識確認）
28	後期の総括	後期の総括と2年生にむけてモチベーションを高めていく
29	2年生に向けて①	1年後の自分の姿を鮮明にし、次年度への目標設定を考える
30	2年生に向けて②	1年後の自分の姿を鮮明にし、次年度への目標設定を考える

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ベーシック・パーソナルメイク		
必修選択	選択	(学則表記)	ベーシック・パーソナルメイク		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ヘアメイク科	3	90
使用教材	メイク道具一式 メイクアップテキストベーシック（デジタルテキスト）			出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	スキンケアからフルメイクまでのメイクの技術を習得し現場を意識して実践できるようになる。				
到達目標	スキンケアからフルメイクまでの技術と理論を理解する。 人にメイクが出来るようになる。				
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	メイクアップ検定ベーシック(後期)				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	小松 真奈美 他5名			実務経験	○
実務内容	某化粧品会社にて美容部員経験6年。スキンケア、ベーシックメイクからショーメイク製品を用いたフルメイク、化粧品の販売経験。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の目的目標、評価基準、授業ルール教材確認(名称、使い方、管理(セッティング)方法)
2	スキンケア	スキンケア(手順)、反復練習
3	スキンケア/ベースメイク	スキンケア復習、ベースメイク(手順)
4	スキンケア/ベースメイク	スキンケアテスト10分ファンデーション(手順の復習、質感・多色塗)
5	ベースメイク	ベースメイク(手順の復習とタイムアップ)、ベースメイクの振り返り
6	ベースメイク/ポイントメイク	ベースメイク(手順の復習とタイムアップ)ポイントメイク(アイシャドウ)
7	セルフメイク	セルフメイク
8	ポイントメイク	ポイントメイク(アイメイク、アイブロウ)

9	ポイントメイク	ポイントメイク(アイメイク、アイブロウ)	
10	ポイントメイク	ポイントメイク(リップ、チーク、ハイ&ローライト)	
11	フルメイク	ベースメイクから、全てのポイントメイクを行う	
12	フルメイク	フルメイクテスト35分×2、ベーシックテクニックの振り返り	
13	ソフト	フルメイク(ソフト)	
14	シャープ	フルメイク(シャープ)	
15	総合授業	まとめを行う	
16	フルメイク/座学	検定試験に向けて試験概要の伝達 フルメイク(ソフト)	
17	フルメイク/座学	フルメイク(ソフト) 座学(問題集にて検定対策を行う)	
18	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(問題集にて検定対策を行う)	
19	フルメイク/座学	フルメイク(シャープ) 座学(問題集にて検定対策を行う)	
20	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(問題集にて検定対策を行う)	
21	フルメイク/座学	フルメイク(モデルの顔に合うもの) 座学(問題集にて検定対策を行う)	
22	ブレ検定	スキんケア10分・フルメイク34分行う テスト扱いとする	
23	苦手克服	フルメイク(苦手な場所を意識的に行う) 座学(検定筆記対策を行う)	アドヴァンス検定 (任意受験) 対策
24	プロポーション	プロポーションについて導入、実践	アドヴァンス検定 (任意受験) 対策
25	錯覚	錯覚について導入、実践	アドヴァンス検定 (任意受験) 対策
26	色、質感	色、質感について導入、実践	アドヴァンス検定 (任意受験) 対策
27	色、質感	色、質感について導入、実践	アドヴァンス検定 (任意受験) 対策
28	フルメイク	フルメイクまとめテスト	アドヴァンス検定 (任意受験) 対策
29	フルメイク	フルメイクまとめテスト／振り返り	アドヴァンス検定 (任意受験) 対策
30	総合授業	まとめを行う	アドヴァンス検定 (任意受験) 対策

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	テクニカルヘアメイク		
必修選択	選択	(学則表記)	テクニカルヘアメイク		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ヘアメイク科	2	60
使用教材	メイク道具一式 ヘアアレンジテキスト			出版社	ユアサポート

科目の基礎情報②

授業のねらい	頭部の名称からヘアアレンジの基礎知識・現場での基礎技術を出来る様にする。				
到達目標	ブラッシング・ピニングのヘアアレンジの基本テクニックを理解する。 編み込みやコテの使用等のヘアアレンジが出来る様になる。 就職活動に必要なセルフテクニックを知る。				
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	神戸 瑞穂			実務経験	○
実務内容	横浜市内でサロン現場経験を積み、現在開業して自身のサロンで施術を行う				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	シニヨン・土台作り／重ね夜会巻き	シニヨン・土台作り／夜会巻き導入
2	シニヨン・土台作り／重ね夜会巻き	シニヨン・土台作り／夜会巻き復習
3	重ね夜会巻き／本夜会巻き	夜会巻き復習
4	重ね夜会巻き／本夜会巻き	夜会巻きテスト、振り返り
5	カールアップ	カールアップ導入
6	スタイル作り①	カールアップを使ったスタイル作り
7	スタイル作り②	カールアップを使ったスタイル作り
8	ハーフアップ／ダウンスタイル①	普段や流行を取り入れたスタイル作り

9	ハーフアップ／ダウンスタイル②	普段や流行を取り入れたスタイル作り
10	スタイルチェンジ①	アップ➡ハーフ➡ダウンとチェンジ出来るスタイル作り
11	スタイルチェンジ②	アップ➡ハーフ➡ダウンとチェンジ出来るスタイル作り
12	新日本髪①	テーマに合わせたスタイル作りと振り返り
13	新日本髪②	テーマに合わせたスタイル作りと振り返り
14	新日本髪④	テーマに合わせたスタイル作りと振り返り
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	スチール撮影実習Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	スチール撮影実習Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ヘアメイク科	1	30
使用教材	カメラ機材(※各校にて可能な範囲) 筆記用具			出版社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	写真のレイアウトやモデルのポージング・撮影場所によつての注意点等を理解し、実践力を身につける				
到達目標	色・光・影の出方によるメイク映えを知る 撮影中の注意事項を理解する				
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	美容実習Ⅰ-E、スチール撮影実習Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	鈴木 悦子 他1名			実務経験	○
実務内容	ブライダル、スチール、映像のヘアメイク経験有り。スタジオヘアメイク研修生向け外部講師。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 光と影について	授業の目的目標、評価基準、授業ルール教材確認(名称、使い方、管理(セッティング)方法)
2	写真のバランス・レイアウト	レイアウトやモデルのポージングについて
3	撮影光と影の使い方	オート(プログラムオート)で自由に撮影カメラの構え方やレンズの使い方を知る
4	撮影光と影の使い方	オート(プログラムオート)で自由に撮影露出補正を使いながら意図する明るさで撮る
5	カメラの使い方	撮影のフィードバックとレンズワークによる遠近感の変化絞りやレンズワークによる背景のボケ方の説明
6	レフの使い方	室内でレフを使った撮影練習
7	作品作り①	テーマに合わせた作品制作作品の振り返り
8	作品作り②	テーマに合わせた作品制作作品の振り返り

9	スチール①	テーマに合わせた作品制作に向けてポージングやライティング等準備・試し撮り
10	スチール②	テーマに合わせた作品制作に向けてポージングやライティング等準備・試し撮り
11	スチール③	テーマに合わせた作品制作に向けてポージングやライティング等準備・試し撮り
12	テスト	作品作りに合わせたテスト、振り返り
13	作品作り③	テーマに合わせた作品制作作品の振り返り
14	作品作り④	テーマに合わせた作品制作作品の振り返り
15	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	就職対策Ⅰ		
必修選択	選択	(学則表記)	就職対策Ⅰ		
開講				単位数	時間数
年次	1年	学科	ヘアメイク科	1	30
使用教材	Jump up ワークシート			出版社	三幸学園

科目の基礎情報②

授業のねらい	専門学生としての自覚を持たせ、目的意識を持って学校生活を送る				
到達目標	就職活動の流れを理解する。 魅力的な履歴書の書き方を習得する。				
評価基準	授業態度30％・提出物30％・テスト40％				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	長瀬 亘輝			実務経験	○
実務内容	企業店、地方個人店、都内店舗、業務委託兼トータルビューティーサロンなど様々な形態の店舗にて美容師として勤務。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	個人の学校生活の目標	専門学生としての自覚を持たせる。一年間の目標を立て行動の意識を高める
2	業界 就職について知る	卒業してどのような職場に入れるのかを説明。
3	就職までのスケジュール	就職（実習）までの大まかな流れを説明
4	学生と社会人の違い	社会人と学生の違いに関してJump upを使用し説明
5	ヘアメイク業界について	ヘアメイク業界について理解する
6	就職ルールについて	報連相の徹底
8	サロン、企業研究	将来像の意識、目標を見つける為にどのような企業、職場があるかを調べる。
7	自己分析	自己分析ワークシートを使用し自己分析。 自分自身を知る事で自分の長所や短所、向いているサロンなどを見つけやすくする。
9	サロン見学について	社会人として、職業人としての基本的な身だしなみ、電話のかけかた

10	就職ジャンル導入	後期のジャンル別説明会導入
11	就職試験の流れ	内定までの流れ
12	履歴書作成	履歴書の書き方、マナーを学ぶ
13	総まとめ	総まとめ
14	実習導入	サロン実習先ヒアリング
15	総合授業	総まとめ
16	後期の目標設定	後期の目標設定を行う。目標を設定する事で将来の為に今すべき事を知る。
17	就職活動のルール確認	就職活動に関してのスケジュール、ルールを確認する
18	求人票の見方	求人票の見方を学ぶ。どのような内容が掲載されているのか知る。
19	履歴書作成	ジョブ・カード「キャリア・プラン作成補助シート ステップ1」を使用し人生のエピソードを書き出す。
20		
21	選考対策① (企業選び・準備など)	卒業生動画 (MINX) ※30分ほどの動画なので、前週までの内容で完了していない部分と組み合わせて実施してください。
22	実習先連絡 ジャンル決定	実習先への電話のかけ方 ジャンル別ガイダンススケジュール伝達・参加ガイダンス入力
23	現場実習についての指導①	実習に必要な書類の準備
24	現場実習についての指導②	Jump upを使用し、実習中に起こり得る事態と、それに対する対策を学ぶ。
25	選考対策② (面接など)	面接についての知識やマナーを学ぶ。
26		
27	就職対策テスト	各校作成のテストを実施
28	実習前落とし込み 就職写真撮影準備	身だしなみ指導
29	実習後振り返り お礼状	実習の振り返りを行い、企業様に向けてのお礼状を作成する。
30	総合授業	"春休み中の動き方・受験心得、受験報告書について"